

金剛東・緑の散策コース

金剛東・緑の散策コースの紹介

金剛東地区の公園と公園を結ぶ緑と憩いの環状線遊歩道「リボン通り」を歩くコースです。

コースの見どころ説明

「金剛東ニュータウン」…近鉄富田林駅と南海金剛駅の間に位置し、街が出来上がって30年が経過し、ゆったりと成熟の時を迎えた街並みです。

「リボン通り」……四季を通じて緑が楽しめる遊歩道は上空からみれば「リボン」の形に見えることから「リボン通り」と呼ばれています。

途中、彫刻や花といった特徴があるコーナーが演出されています。
季節を通じての変化や風情を楽しむことができます。

■アレンジコース

花の散策コース（約0.6km）

春から秋には、この歩道の両側に、近隣の住民が心を込め手を掛けて、色んな花を咲かせています。

明治池一周コース（約0.6km）

緑と木々や池などという豊かな自然を感じることができ、時にはアヒルやカモも池から顔をのぞかせます。一部傾斜のきついところもあります。

※バス停 中央センター前までの行き方
南海金剛駅東側から10分（南海バス）
近鉄富田林駅北口から10分（近鉄バス）

歩行距離（全長 約4.6km）

- ①バス停中央センター前（※）
（エコールロゼ）
↓ 0.2km
- ②金剛東中央公園
↓ 1.1km
- ③藤沢台公園
↓ 1.9km
- ④津々山台公園
↓ 0.7km
- ⑤明治池公園
↓ 0.7km
- ①バス停中央センター前
（エコールロゼ）

椿と山茶花・どう違う

共に花の少ない冬の時期に美しい花を咲かせる木。いずれもツバキ科で見分けにくいという人も多いですね。

【ツバキ】



花は赤の5弁で大きく開ききりません。花びらの先はあまり割れておらず、やや丸みをおびています。散るときは花がついたまま落ちます。葉は厚手で光沢があります。

【サザンカ】



原種は白色の5弁花で、花は大きく開平します。ツバキと違って花びらは一枚一枚バラバラになって落ちます。葉はツバキより小形です。サザンカは日本特産種で、中国にはなく、中国で山茶花と書くとツバキをさします。

